ISO 9001
認証取得

shindaiwa

ホース巻取機　RKM-1／S

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合はお買い上げの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

本書に記載した ⚠ の表示のある注意事項は、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり必ずお守りください。

⚠ 警告・・・その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
⚠ 注意・・・その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

目次

1．安全のために必ずお守りください
　1－1　全　般
　1－2　作業前
　1－3　農薬・薬液の取り扱い
　1－4　作業中
　1－5　作業後及び保管について
2．製品構成
3．仕　　様
4．組立方法
　4－1　準備
　4－2　ホース巻取機の取り付け
　4－3　噴口などの取り付け
5．組立完成図
6．噴口について
　6－1　ポンプ及び噴口性能表
　6－2　構成及び名称
　6－3　取り扱いについて
7．使用方法
　7－1　作業前
　7－2　作業中
　7－3　作業後及び保管

新ダイワ工業株式会社

680020880-2008.06

1．安全のために必ずお守りください

1－1　全般

⚠ 注　意

・この製品はアルミ台車RKW-2/S(別売品)専用品です。他の用途には絶対使わないでください。
・本製品には標準噴口として、スーパーシャトル３００Ａが付属されています。他の噴口を使用される場合は、使用される噴口の取扱説明書をご覧ください。
・防除作業及び背負式動力噴霧機に関する注意事項については、搭載される背負式動力噴霧機の取扱説明書をご覧ください。
・安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
・この製品を他人に貸与または譲渡する場合は必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するように指導してください。

1－2　作業前

⚠ 注　意

・次に該当する方は、この製品を使用しないでください。
　・酒気を帯びた者
　・過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者
　・妊娠中の者
　・１５歳未満の者
　・負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
・作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、磨耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。

1－3　農薬・薬液の取り扱い

⚠ 注　意

・調合が適正でない薬液は、作物を傷めるだけでなく人体にも有害になる恐れがあります。薬液の調合の際は、農薬の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
・農薬は必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
・誤使用、誤飲のの危険がありますので、農薬は絶対に別の容器に移し替えないでください。
・農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は薬害のない方法で処分してください。

1－4　作業中

⚠ 警　告

・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。

⚠ 注　意

・水道、河川、池、沼などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
・作業中、作業後にめまい、頭痛を生じまたは気分が少しでも悪くなった場合は直ちに医師の診察を受けてください。
・吐出ホースを繰り出すときは、本機が転倒しないように必ず片方の手で本機を押さえながら行ってください。
・吐出ホースに無理な曲げ、折れ、よじれ、引っ張りがないように注意してください。
・ホースの温度は４０℃以下で使用してください。４０℃以上になりますと耐圧性能が低下します。
・作業中に噴口部を清掃または交換する場合は、顔面などに薬液のかかる恐れがありますので、ポンプを止め、吐出ホース先のコック及び噴口を閉じ、噴口部を取り外してから行ってください。

1－5　作業後及び保管について

⚠注　意

・ポンプを止めてもポンプ～ホース内に圧力が残っている場合があります。この状態で接続部を取り外すと薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、吐出ホース先のコック及び噴口を開いてポンプ～ホース内の圧力を抜いてから取り外してください。
・吐出ホースは、内部の残液を空にして巻取機に巻いて保管してください。
・使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
・余った薬液及び機械の洗浄水は、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
・作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに目の水洗いとうがいをしてください。また、作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。

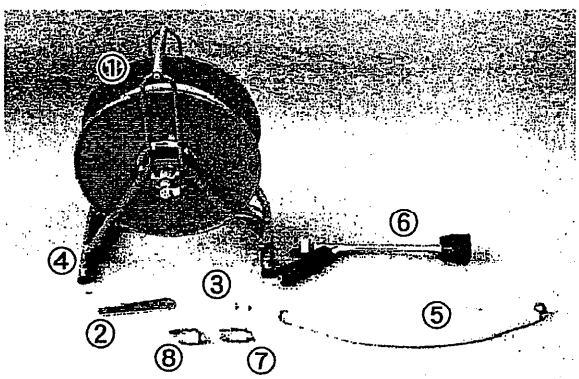
2．製品構成

最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もし、欠品または破損などがありましたら、製品名、型式と共にお買い上げの販売店にお知らせください。

記号	品　　名	個数	記号	品　　名	個数
①	巻取機部	1	⑤	接続ホース　φ８．５×４６０	1
※	吐出ホース（金具付２０ｍ）	1	⑥	スーパーシャトル　３００Ａ	1
※	ホースヨリモドシ　G1/4　９０°	1	⑦	ホースヨリモドシ　G1/4	1
②	小型ホース巻取機用ハンドル	1	⑧	ボールコック６　G1/4	1
③	十字穴付ナベ小ネジ　Ｍ５×１２	2		取扱説明書（本書）	1
④	六角ボルト　Ｍ８×１６	2			

※の記号のついた部品は①に組み込まれています。

【写１】



3．仕　様

用　　途	アルミ台車RKW-2/S（別売）専用延長ホースセット
質　　量	５．１kg（①+②+③+④）
吐出ホース内径、長さ	７．５㎜、２０ｍ
ホース材質	ポリ塩化ビニル

4．組立方法

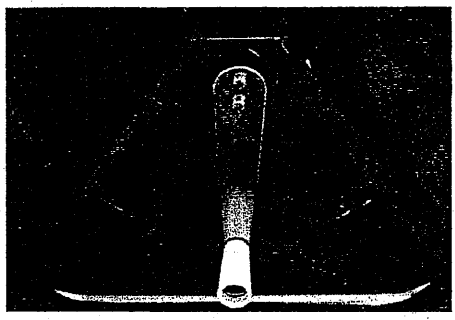
4－1　準備

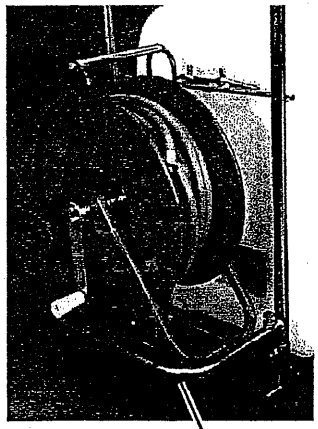
以下の工具を準備してください。（付属されていません）
・スパナ（１３mm、１７mm、１９mm）
・プラスドライバ

4－2　ホース巻取機の取り付け

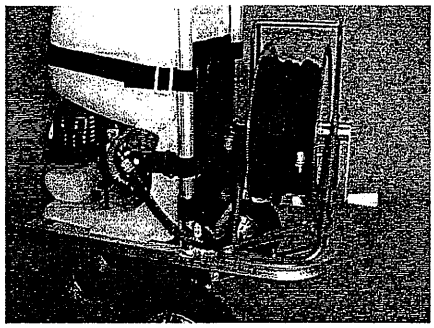
（1）②小型ホース巻取機用ハンドルを③十字穴付ナベ小ネジ（Ｍ５×１２）で①巻取機部に取り付けます。【写２】
（2）巻取機部の丸パイプフレームを外します。外したボルト＆ナット類は、台車へ取付時に使用しますのでなくさないでください。
（3）①巻取機部に組み込まれているホースヨリモドシに⑤接続ホースをつなぎます。
（4）アルミ台車RKW-2/S（別売）の補助台にあるホース巻取機取付穴に、（2）で外したボルト＆ナット類でしっかりと固定します。【写３】
（5）背負式動力噴霧機の薬液タンク内に薬液が残っていないことを確認し、（3）で接続したホースの片側と動力噴霧機ポンプの吐出口をつなぎます。【写４】

⚠注　意
接続ホースを接続する際に無理な曲げ、折れ、よじれ、引っ張りのないよう注意してください。


【写２】



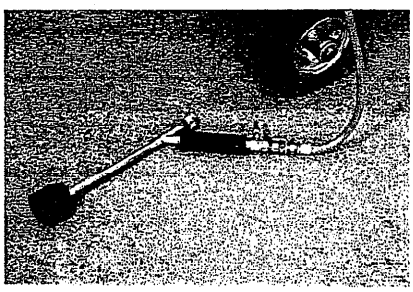
【写３】


【写４】

4－3　噴口などの取り付け

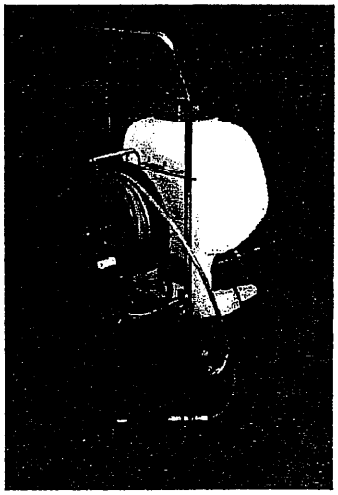
（1）①巻取機部の吐出ホースに⑦ホースヨリモドシ、⑧ボールコック、⑥スーパーシャトル３００Ａをこの順にしっかりと組み付けます。【写５】

⚠注　意
薬液送水経路の組み立ての際、接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないことを確認しながら行ってください。


【写５】

5．組立完成図【写６】

※この写真は本製品を背負式動力噴霧機（別売）とアルミ台車ＲKW-２／Ｓ（別売）にセットしたものです。

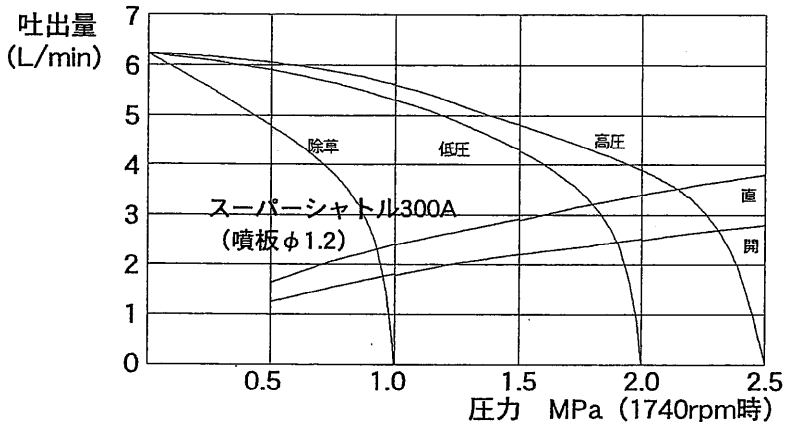

【写６】

6．噴口について

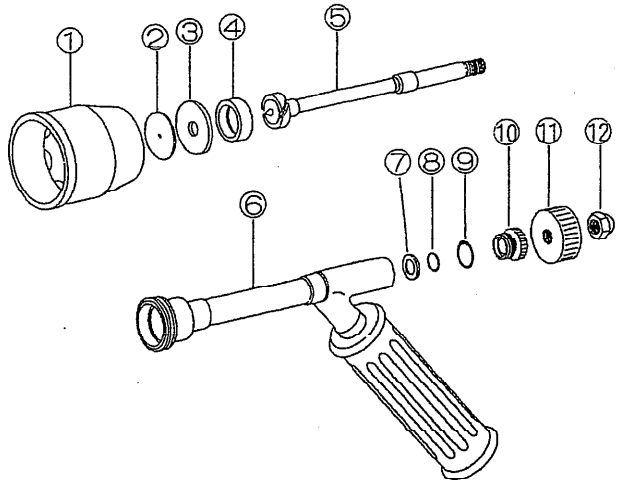
※本製品には標準噴口として、スーパーシャトル３００Ａが付属されています。
他の噴口を使用する場合、噴口によっては性能を保証できないものもありますので、＜6－1ポンプ及び噴口性能表＞を参照して、スーパーシャトル３００Ａと同等性能の噴口を選択してください。
不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

6－1　ポンプ及び噴口性能表

（例）背負式動力噴霧機ＥＳＫ７２０－Ｓに使われているポンプ及び噴口性能表



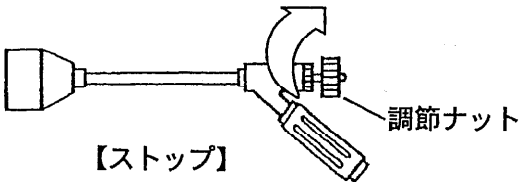
6－2　構成及び名称

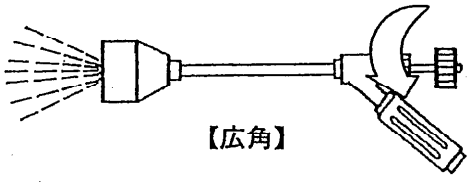


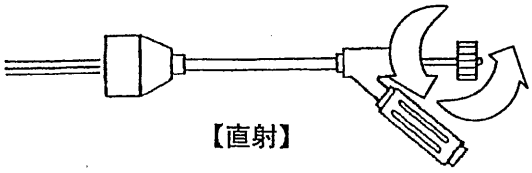
記号	部品名	個数	備　　考
①	フード	1	
②	噴板	1	φ１．２
③	パッキン	1	27.0×10.0×2.0
④	ガイド	1	
⑤	調節軸	1	
⑥	本体部	1	
⑦	座金	1	
⑧	Ｏリング	1	Ｐ－８
⑨	Ｏリング	1	Ｐ－１０Ａ
⑩	ストッパ	1	
⑪	調節ナット	1	
⑫	袋ナット	1	Ｍ８

6－3　取り扱いについて

（1）スーパーシャトル３００Ａは図のように『ストップ』～『広角』～『直射』が調節ナットにより連続調整できます。
（2）作業中以外は調節ナットを右いっぱいに締め込み、『ストップ』の位置にしておいてください。







7．使用方法

7－1　作業前

⚠ 注　意

・作業前に接続部のパッキンに脱落のないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、磨耗、破損のないこと等、各部に異常のないことを確認してください。

7－2　作業中

（1）巻取機部からホースを繰り出します。
（2）ボールコック及び噴口が閉じてあるか確認し、背負式動力噴霧機を始動させます。
（3）ボールコック及び噴口を開いて散布作業に入ります。

⚠ 警　告

・農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。

⚠ 注　意

・水道、河川、池、沼などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
・作業中、作業後にめまい、頭痛を生じまたは気分が少しでも悪くなった場合は直ちに医師の診察を受けてください。
・吐出ホースを繰り出すときは、本機が転倒しないように必ず片方の手で本機を押さえながら行ってください。
・吐出ホースに無理な曲げ、折れ、よじれ、引っ張りがないように注意してください。
・ホースの温度は４０℃以下で使用してください。４０℃以上になりますと耐圧性能が低下します。
・作業中に噴口部を清掃または交換する場合は、顔面などに薬液のかかる恐れがありますので、ポンプを止め、吐出ホース先のコック及び噴口を閉じ、噴口部を取り外してから行ってください。

7－2　作業後及び保管

（1）付着した土、農薬などの汚れは固く絞った布で拭き取ります。
（2）作業後は清水でホース内を洗浄します。
　　※長期保管の時は、ホース内部の水を空にしてください。

⚠ 注　意

・ポンプを止めてもポンプ～ホース内に圧力が残っている場合があります。この状態で接続部を取り外すと薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、吐出ホース先のコック及び噴口を開いてポンプ～ホース内の圧力を抜いてから取り外してください。
・吐出ホースは、内部の残液を空にして巻取機に巻いて保管してください。
・使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。
・余った薬液及び機械の洗浄水は、河川、水源地、池、沼、下水等に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
・作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに目の水洗いとうがいをしてください。また、作業期間中は衣服を毎日取り替えてください。

新ダイワ工業株式会社

本社	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	TEL 082-849-2001
札幌営業所	〒065-0033	札幌市東区北三十三条東17丁目4-17	TEL 011-783-7551
仙台営業所	〒984-0042	宮城県仙台市若林区大和町1丁目22-45	TEL 022-239-1688
郡山営業所	〒963-0107	福島県郡山市安積4丁目48-1	TEL 024-945-8678
盛岡営業所	〒020-0122	岩手県盛岡市みたけ4丁目3-5	TEL 019-641-3416
東京営業所	〒134-0083	東京都江戸川区中葛西6丁目17-8	TEL 03-3687-5771
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀3丁目19-1	TEL 043-214-0260
多摩営業所	〒192-0043	東京都八王子市暁町2丁目6-3	TEL 0426-20-5590
横浜営業所	〒222-0025	神奈川県横浜市港北区篠原西町34-33	TEL 045-431-7786
静岡営業所	〒422-8046	静岡市駿河区中島2834-1	TEL 054-282-7012
さいたま営業所	〒331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町1丁目19-4	TEL 048-666-2521
宇都宮営業所	〒321-0912	栃木県宇都宮市石井町3149-28	TEL 028-656-8737
土浦営業所	〒315-0052	茨城県かすみがうら市下稲吉1628-4	TEL 0299-59-1005
前橋営業所	〒371-0037	群馬県前橋市上小出町2丁目46-3	TEL 027-234-5956
長野営業所	〒381-0043	長野市吉田5丁目24-16	TEL 026-244-3970
新潟営業所	〒950-0892	新潟市東区寺山3丁目32-12	TEL 025-275-5616
名古屋営業所	〒454-0826	愛知県名古屋市中川区小本本町1-75	TEL 052-362-2281
浜松営業所	〒430-0852	静岡県浜松市中区領家3丁目11-1	TEL 053-465-1140
津営業所	〒514-0823	三重県津市大字半田池町590-5	TEL 059-227-2716
岐阜営業所	〒500-8367	岐阜市宇佐南4丁目2-4	TEL 058-271-4015
金沢営業所	〒920-0016	石川県金沢市諸江町中丁344	TEL 076-237-1230
大阪営業所	〒556-0022	大阪市浪速区桜川4丁目11-20	TEL 06-6561-8484
和歌山営業所	〒640-8482	和歌山市六十谷226-6 黒田コーポ	TEL 073-462-7277
京都営業所	〒601-8304	京都市南区吉祥院前河原町1	TEL 075-321-0141
姫路営業所	〒670-0974	兵庫県姫路市飯田2-88	TEL 0792-33-6838
広島営業所	〒731-3167	広島市安佐南区大塚西6丁目2-11	TEL 082-849-2400
防府営業所	〒747-0031	山口県防府市迫戸町5丁目25	TEL 0835-27-0575
岡山営業所	〒700-0965	岡山市西長瀬261-104	TEL 086-241-3013
高松営業所	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1638-7	TEL 087-843-1201
松山営業所	〒790-0064	愛媛県松山市愛光町9-14	TEL 089-922-8886
福岡営業所	〒812-0006	福岡市博多区上牟田3丁目5-22	TEL 092-411-9801
小倉営業所	〒803-0826	福岡県北九州市小倉北区高峰町10-8	TEL 093-561-3422
諫早営業所	〒854-0066	長崎県諫早市久山町1785-5	TEL 0957-49-8857
大分営業所	〒870-0155	大分市高城南町7-13	TEL 097-552-1745
熊本営業所	〒861-8045	熊本市小山3丁目7-26	TEL 096-388-0096
鹿児島営業所	〒890-0073	鹿児島市宇宿2丁目23-18	TEL 099-257-6801
宮崎営業所	〒880-2112	宮崎市小松2399-6	TEL 0985-62-3612

080416